

楠木太郎氏の庭

吉村健二

登場人物

- 加藤浩次（不動産会社の営業主任）
杉本正文（失業中の元鉱山技師）
田中幸雄（東所沢市公園緑地課課長補佐）
ひとみ（劇団員、トンカツ屋のアルバイト）
少年Q（小学三年生、『あけぼの丸』船長）
正男（プロポーズする男）
正子（プロポーズされる女）
母親1（優香ちゃんママ、俳句の会員）
母親2（拓也くんママ、俳句の会員）
母親3（剛志くんママ、俳句の会員）
母親4（未来ちゃんと光くんママ、俳句の会員）
幽霊（元探偵）

1
スーツ姿のよれよれの中年にスポーツ
ト。髪は乱れ、ネクタイはせず、靴
も履いていない。幽霊である。

幽霊 探偵です：探偵でした。浮気調査専
門の。浮気、多いんですよ。だから流行っ
てました。毎日毎日、尾行に張込み、盗聴
盗撮。家に帰る暇もなかった：：：でもね、
この仕事、嫌いじゃなかった。結構、楽し
んでた。見張られてることに全然気づかな
い馬鹿どもに、何とかいうか優越感があつた
のかな。おまえらは巧妙に隠してるつもり
でも全部お見通しなんだって。俺の手のひ
らからは逃れられないってね。中には何と
なく気づくやつもいました。そいつらは始
終オドオドしていて、それを見るのも面白
かった。浮気の証拠を提出して、さてこれ
からどんな修羅場が繰り広げられるか想
像するの：：：ところがある日、いつもの
ように不倫相手を発見したんですが、どこ
かで見たような顔で：：女房でした。俺の。
浮気相手が俺の女房だった。漫画みたいだ
よね。でも本当の話：：俺は、俺はもう頭
に血が上って：：。

暗転。

2

明りが入ると、そこは小さな公園の
ような場所。中央、やや下手なりに

クスノキが一本立っている。クスノキには十歳くらいの少年が上るのに、そして大人が首を吊るのにちょうどいい高さに、ちょうどいい太さの枝が張り出している。その傍らに背もたれのないベンチ。他には何も無い。公園というより空き地というべきか。近くに新築のマンション一棟が聳え、るといふ設定。

季節は秋。午前九時頃。クスノキの木陰、ベンチに憩う二十代の母親1、2、3。それぞれの傍らにはベビーカーと赤ん坊（セルロイドの人形）。幽霊の男もいる。幽霊は以下の全ての場に出ているが、他の登場人物には全く見えていない。邪魔にならぬよう傍観者としてうろろしているだけだが、登場人物の台詞に反応（頷いたり、笑ったり、肩をすくめたり、怒ったり、恥ずかしがったり）するし、ちよつかいも出す。ただし、最初と最後を除いて声は発しない。母親たちは短冊にサインペンで何か書きつけている。

母親 1 一句、とれたての赤ん坊を干す五月晴れ。

母親 2 お見事。でも五月晴れは夏の季語よ、今はもう秋。

母親 1 季語は五月晴れじゃなく、とれたてなの。

母親 3 とれたたてって、秋の季語？

母親 1 実りの秋だからオツケー。それより見て、うちの優香ちゃんのほっぺ。ピンクがかって、産毛がきらきら。まるで水蜜桃。思わずかじりたくなっちゃう。

母親 2 うちの拓也ちゃんだって。

母親 1（母親2の赤ん坊の顔をのぞき）まあ、薄汚れて、湯気が出て。まるで道に落とし

母親 2 た肉まん。思わず踏んづけたくなっちゃう。
 母親 1 平気よ、そういう言葉のイジメ。ど
 うの子なんだから。獅子は千尋の谷底から
 男の子なんだから。獅子は千尋の谷底から
 母親 1 這い上がるの。
 母親 1 そんなクソガキ、赤の他人だもの。うちの
 優香ちゃんはおとめ座。女の子は何たって
 おとめ座よ。おたくの肉まんがしし座なの
 は偶然でしょ。おたくはね、NASAと同じ
 スパコンで計算したの。おとめ座生まれに
 するために。計画的なの、天文学的なの、
 たまたまじゃないの、必然なの。大必然。
 母親 2 どうしたの？
 母親 1 えっ？
 母親 2 男の子が生まれたらどうするつもり
 だったの？
 母親 1 おとめ座としし座は相性が悪いのよ、
 知ってた？
 母親 2 ごまかさなないで。話を変えないで。
 母親 1 だから、もしもおたくの肉まんが。
 母親 2 拓也ちゃん！
 母親 1 おたくの拓まんが将来、いけ図々し
 くもうちの優香ちゃんのことを好きにな
 ったとしてもよ、幸いなことに相性が悪い
 の。それもかなり悪いの。
 母親 2 好きになんかならないわよ。
 母親 1 なるの、それは必然。必然の可愛さ
 なの、うちの優香ちゃんは。
 母親 3 うちの剛志くんはかに座だから、お
 とめ座とは相性がいいわ。
 母親 1 かに座？（母親3の赤ん坊を指し）
 それ、かに座なの！かわいそう、選りに
 よってかに座なんて。そういえばやけに赤
 い顔してると思った：：一度ゆでた？
 母親 3 ゆでないわよ！
 母親 1 かに座ってことは：：（指を折って）
 まあ、いやだ。あんた、ずいぶん暑い頃に
 仕込んだのね。汗水たらしてやったのね。

汗疹がひどいのはそのせいかしら。

そこへ母親4、かなり年代物の乳母車を押して入ってくる。あきらかに女装をした中年男である。大柄、がっちりした体形。

母親2 あら、知らない顔。

母親3 でも威風堂々。

母親1 (母親4に)ちよいと、どちら様？

母親4 一句、冬瓜をのせてゆらせて乳母車。

母親2 お見事。冬瓜は秋の季語です。

母親1 あなた、もしかして、私たちの会に入りたいの？

母親4 はい。大きなクリの木でなくて、大きなクスノキの下で句会を催している今どき風流なお母さん方のサークルがある
と、市の生涯教育課でうかがいましたんで、
こうして都会の砂漠をはるばると。

母親3 遠くからいらしたの？

母親4 三千里ばかり向こうから。

母親2 ま、面白い人。

母親4 仲よく遊んでくださいますか？

母親1 それで、そのレトロな乳母車に乗せているのは、メスなの？ オスなの？

母親4 ふふっ、それは秘密。

母親2 ならばそつと星座を教えて。

母親4 (大声で)てんびん座。

母親2 てんびん座。

母親4 義理と人情を、愛情とお金を、出世と家庭を、罪と罰を、受験とクラブ活動を
八百屋の店先の秤にかけて。

母親1 八百屋で生れたの？

母親4 あら、よく御存じ。

母親2 ずいぶん大きそうね。

母親3 もしかして去年生まれたの？

母親4 いいえ。

母親2 一昨年？

母親3 じゃあ、一昨々年？

母親4 いいえ、十年一昔。

母親 1 この子、十年ものなの？
母親 4 でも名前は未来と書いて。
母親 2 未来と書いて。
母親 4 みらいと読みます。
母親 3 そのまんま。
母親 1 その未来ちゃんのお顔、ちよつくら

のぞかせてくださらない。

母親 4 それはちよつと。

母親 1 もったいつけるな。

母親 4 もったいのうごきます。

母親 1 踏んづけたりしないから。

母親 4 未来をのぞくと不幸になりますわよ。

母親 1 いいじゃない、減るもんじゃなし。

母親 4 ダメだって、ダメ！（突然、男の

声で）よせてって言ってんだろ！

争った拍子に乳母車がひっくりかえる（実は幽霊がひっくりかえす）。中から転げ出る大きな冬瓜。転がってぶつかって、ぱっくり割れる。

母親 1 （悲鳴）いやーっ！

母親 4 私の、私の未来ちゃんが！

暗転。

3

同じ場所。午後二時頃。市の公園緑地課の役人、田中と大手デベロップ、三友不動産の加藤。ともに四十代の男。田中は東所沢市のネーム入りのジャンパー。ベンチに座っている。加藤はスーツ姿。幽霊はやや離れた場所で見ている。

加藤 気がつかなくったんです。こんなところ
田中 うかつでしたね（鼻をほじりながら）。
加藤（マンションを指して）あれを建てると
田中 きも、全然引っかけからなかったですから。
田中 うかつでしたね（またほじる）。
加藤 東側の住宅の連中ともめていたんです。
地盤への影響がどうのって。いいがかりな
んですがね、補償金目当ての。だからつい、
田中 こっちのチェックがおろそかに。
加藤（うかつでしたね（しつこくほじる））。
加藤（苛立つて）ええ、うかつです。うかつ
でした！
田中 別に問題ないんですよ、道路へのアク
セスとか……日照権も関係なさそうだし
（やつとほじりおえる）。
加藤 日照権もなにも、ここには家がない。
田中 住人がいるわけですから、権利侵害に
加藤 対して苦情を申し立てることは可能です。
加藤 ここには誰も住んでいない。
田中 ちゃんと登記がされていますし、所有
者はちゃんと住民登録もされています。ち
なみに固定資産税、住民税、国民健康保険
料もちゃんと払われています。
加藤 家がいないじゃないですか。
田中 かまわないです。
加藤 かまわないって……その住んでい
ることはならないでしょ。おかしい。
田中 納めるべきものは納めているのだから、
市としては文句のつけようがない。
加藤 掘立小屋もないんですよ、ここには。
田中 プール付の豪邸を建てようが、ダンボ
ールハウスだろうが、それは所有者の自由。
加藤 とにかく連絡をとりたいんです。
田中 私もとりたいたいです。ご相談したいこ
とがありますし。
加藤 役所でも連絡とれないんですか。
田中 この通り、電話もありませんし（笑）。
加藤 ここにいないくても、他のどこかに住ん
でいるんでしょ？

田中 わかりません。
加藤 じゃあ、税の通知や保険証はどこへ送
るんです？
田中 もちろん、ここへ送付されます。
加藤 郵便受け、ないじゃないですか。
田中 ありますよ、ほら、ここ。(クスノキの
洞を示す)
加藤 こんなところへ入れて：：大丈夫なん
ですか。当人に届くんですか？
田中 届いているようです。
加藤 家族は？
田中 住民票によると、東所沢市あけぼの町
三丁目四番九号。ここの住所です。世帯主、
楠木太郎。妻子等の記載なし。家族はいな
いようです。
加藤 楠木太郎：：偽名くさいな。これ、(木
を指して)クスノキですよ。
田中 知ってますよ。これでも公園緑地課の
役人ですから。クスノキ科の常緑高木、日
本では暖かい地方に多く、高さは二十メー
トルにも達し、建築用や船をつくるのに使
います。それから樟脳ができるんですよ、
こいつの根や幹を蒸留すると：：。
加藤 詳しい説明、ありがとうございます。
田中 それでは樹齢はいかほど？
加藤 五、六十年、それ以上ということはな
いでしょう。ここらは戦争中、空襲で焼け
野原だったそうですから。
加藤 楠木太郎氏が植えたんですかね。